



校長室だより 笑顔

今年度のテーマ **聴き合う**

◆ さくら児童会スローガン：たくましく 笑顔いっぱい あかいつ子 ◆

2024年も 夢いっぱい 未来へはばたけ あかいつ子

本年も ご支援とご協力をお願いいたします

2024年が明け、学校では年度のまとめとなる時期を迎えました。

昨年は、11月に開校150周年を迎え、子どもたちとともに歴史を胸に刻みながら未来への夢に思いをはせました。赤井南小に開催場所を移しての運動会や3年ぶりの収穫祭など、保護者の皆様のご助力のおかげで実施することができた活動がたくさんありました。また、心配されたインフルエンザ等の感染症についても小規模の流行で収まっています。ご家庭のご協力に感謝申し上げます。2024年もよろしくお願いいたします。

今年のお正月は、北陸地方の地震や航空機の事故など、胸が痛くなるニュースがたくさん飛び込んできました。地震と津波、その後の避難生活などの報道を目にするたびに、東日本大震災を思い出し、被災された方々の辛さや子どもたちの学校生活に思いをはせています。楽しく冬休みを過ごしていたあかいつ子たちも、ニュースから感じるころがあったのではないのでしょうか。

そこで、冬休み明けの朝会では、昨年末に2023年の子どもたちの頑張りを表す漢字として話した「合」とからめて以下のような話をしました。

新しい年がスタートしました。そして、今日から2024年の学校生活が始まります。皆さんが大きなけや事故にあわず、元気に学校に登校してくれてきたことを何よりうれしく思っています。

皆さんはどのようなお正月を過ごしましたか。遊びや家族のためのお手伝い、読書・あいさつなど、「あたたかく」「かしこく」「いきいきと」過ごして、きっとたくさんの思い出ができたことでしょう。

でも、今年のお正月は、日本各地で大きな地震や事故、火災などが起きました。皆さんもニュースで知っていますね。お正月、親戚が集まったり家族が休みでのんびりと過ごしたりしていた楽しい時間に起きた地震。強い揺れと、真っ暗で寒い夜に、怖くて心細い思いをした子どもたちがたくさんいたと思います。特に被害が大きかった地域では、たくさんの建物が倒れました。家族や思い出がいっぱい詰まったものをなくした人たちが大勢います。学校がいつから始まるか決まっていないところもあります。今、地震にあった子どもたちはどんな思いをしているのでしょうか。目を閉じて考えてみてください。

色々思い浮かんだことと思います。予定通りに学校が始められて、みんなと会うことができ、勉強ができて、普段通りに生活できることは、本当に幸せなことなんだと気付くことができますね。

では、私たちには何ができるでしょう。実はみんなはもうできることを一つやっているのですよ。

それは、「思い合う」です。今、地震にあって怖い思いをしたり不自由な毎日を送ったりしている子どもたちの気持ちを想像し、自分にできることを考えましたね。遠いところの地震だから自分には関係ないと思わずに、どうしているかなあ、自分だったらどうかなあと想像する。「助け合い」は「思い合い」から始まるのです。

このことは、冬休み明けの学校生活を充実させる鍵にもなります。冬休み前の朝会で、皆さんの頑張りを表す漢字として「合」を紹介しました。「聴き合う」「助け合う」「話し合う」「励まし合う」など、友達と一緒に活動し、成長してきましたね。新しい年のスタートに当たっても、この「合う」を大切にしていきたいでしょう。2学期のまとめとして、3月の卒業式、修了式までになりたい自分になるために、めあてを立て、チャレンジし合い、応援し合ってほしいと思います。

そして、遠くの子どもたちのことも、身近な友達のことも思い合って伸びていく年にしましょう。

和太鼓発表会 お待ちしています

赤井小学校は、特色ある教育として「赤井5（ファイブ）」（「和太鼓活動」「大槻俊斎学習カリキュラム」「田んぼの学校」「SDG s 活動」「たてわり活動」）を掲げて教育活動に取り組んでいます。コミュニティ・スクールとして、地域の皆様、保護者の皆様の協力・参画をいただきながら、あかいつ子のよりよい成長を目指して活動を実施しています。

その一つ、和太鼓活動は、学年間の教え合いやめあてを持った練習を通して、共に学ぶ良さを味わい、やり抜く力や豊かな感性を育みます。また、6年生は「赤井いぶき太鼓」を引き継いで地域や市の行事でも演奏し、伝統をつなぐ志（こころざし）や自己肯定感を育んでいます。

12月には各学年が練習に取り組み、学校のあちこちで練習の音や掛け声が響き、上級生から下級生へ、そして同級生同士でも教え合う姿が見られました。担任の「〇時間目は太鼓の練習です」の声に「わーい」「太鼓大好き！」と喜ぶ顔、練習中の真剣な顔、練習を終えたときの満足気な顔を見ていると、和太鼓活動がしっかりと子どもたちの心に根付き、自信とやる気を育んでいることを改めて感じます。

今月末の「和太鼓発表会」は、赤井市民センターを会場にお借りして実施します。会場の関係から保護者の皆様の来場は1家庭2名以内とし、学年部入れ替え制で行いますが、ぜひご来場いただき、子どもたちの成長を実感していただければと思います。お待ちしております。



各学年のめあて ☆めあての達成に向けて練習しています☆

- <1年生> 元気いっぱい 心を合わせて がんばろう
- <2年生> みんなの心をつなぎ、リズムよく音をそろえた演奏をする
- <3年生> 元気よく、「かまえ」を意識して堂々と演奏する
- <4年生> からだをしっかりと動かして、迫力あるカッコいい演奏をする
- <5年生> 息を合わせた迫力のある演奏をして、みんなを笑顔にする
- <6年生> 伝統を超える 迫力ある演奏を届ける



（令和4年度の和太鼓発表会の様子から）

ご協力ありがとうございます ～ご家庭とともに「自ら学ぶ力」を～

冬休み期間中も「ファミリー読書」への取組や家庭学習カードの確認、冬休み学習帳の採点等、子どもたちの学びや生活について励ましていただきありがとうございました。特にファミリー読書では、おうちの方と一緒に読んだり読み聞かせや一人読みをしたりするなど、思い思いの取組をしながら、どのお子さんも以前より読書に親しむことができたようです。

人間は「言葉を使って考える」と言われています。ということは、読書を通して豊かに言葉を獲得することが豊かな思考につながると言えるのではないのでしょうか。

矢本二中学区全体で、毎週第3水曜日のある週を「ファミリー読書週間」と設定して読書の推進に取り組んでいます。読書の習慣化は生涯を通して自ら学び続ける人づくりにもつながります。これからも読書を通じて豊かな感性や思考力、読解力、新たな知識等を育んでいきたいと思ひます。ぜひ、ご家庭でも一緒に「ファミリー読書」を楽しんでみませんか。